



富士山

信仰の対象と芸術の源泉



平成25年6月22日 登録決定日の富士山(市役所)

富士山裾野ガイド協会

富士山須山口登山道案内



目 次

1. 世界遺産は人類共通の宝物 P2~3
2. 富士山は国内で17件目の世界遺産 P4
3. 負の遺産 P5
4. 富士山スカイライン P6
5. 山小屋のトイレは環境にやさしい P7
6. 富士山の成り立ち P8
7. 宝永の大噴火は1707年 P9
8. 富士山と信仰 P10~11
9. 須山浅間神社 P12~13
10. 須山口登山道 P14~15
11. 須山御胎内 P16
12. 富士山須山口略絵図 P17



裾野市の概要



- 須山口登山歩道
- 〔富士山構成資産〕
須山口登山道
- 車道
- 歩道

- 面積 138.17km²
東西 23.5km
南北 23.0km
標高 78.5mから2,169m
- 市の木 スギ
- 市の花 アシタカツツジ
- 市の鳥 ウグイス

1. 世界遺産は人類共通の宝物

世界遺産とは、世界の人たち全員の宝物として守っていく必要のある貴重な文化財や自然のことです。世界遺産に登録されるためには、世界の人々に価値が認められること、将来にわたって守っていく仕組みが整っていることなど、いくつかの条件があり、厳しい審査を受けなければなりません。世界遺産として登録されると、その国や地域は、その遺産を未来に向けて大切に守っていくことが求められます。世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つに分けられ、現在(H25.7)、文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件の981件が登録されています。

(1) 文化遺産

世界の人々に価値が認められた遺跡（住居跡、城跡、古墳など）や建物などです。エジプトにあるクフ王のピラミッドは、今から約4500年前に作られたもので、高さ135m、底辺の1辺が230mで約230万個の石が使用されています。



(2) 自然遺産

とくちょう 特徴のある地形や美しい風景、せいぞくち 貴重な動植物の生息地
などです。アメリカ合衆国にあるグランドキャニオン国立公園は、長い年月をかけてできた深い谷が約450kmにわたって続いています。谷底の一番古い地層は、約20億年前のものです。



(3) 複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方に登録されたものです。オーストラリアにあるウルル - カタ・ジュタ国立公園には、高さ348m、周囲9.4kmの世界最大級の一枚岩があります。

また、ここは先住民にとってしんせい 神聖な場所で、岩に絵を描き、どうくつ 洞窟でぎしき 儀式を行ってきました。



2. 富士山は国内で17件目の世界遺産

日本国内の物件では、1993(平成5)年に、法隆寺^{ほうりゅうじ}地域の仏教建造物、姫路城、屋久島、白神山地^{ひめじじょう やくしま しらかみ}の4件が登録されました。現在(H25.7)、日本国内には文化遺産13件、自然遺産4件の合計17件が世界遺産に登録されています。富士山は、国内で17件目の世界遺産となりました。



【日本の世界遺産】

区分	名称	所在都道府県	登録年
文化	法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	1993年
〃	姫路城	兵庫県	1993年
〃	古都京都の文化財	京都府・滋賀県	1994年
〃	白川郷・五箇山の合掌造り集落 ^{しらかわごう ごがやま がっしょうづく}	岐阜県・富山県	1995年
	原爆ドーム	広島県	1996年
〃	厳島神社 ^{いつくしま}	広島県	1996年
〃	古都奈良の文化財	奈良県	1998年
〃	日光の社寺	栃木県	1999年
〃	琉球王国のグスク及び関連遺産群 ^{りゅうきゅう}	沖縄県	2000年
〃	紀伊山地の霊場と参詣道 ^{きいさんち れいじょう さんけいみち}	三重県・奈良県 和歌山県	2004年
〃	石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	2007年
〃	平泉	岩手県	2011年
〃	富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉	静岡県・山梨県	2013年
自然	白神山地	青森県・秋田県	1993年
〃	屋久島	鹿児島県	1993年
〃	知床	北海道	2005年
〃	小笠原諸島	東京都	2011年

3. 負の遺産 ～人類の過ちをくり返さないために～

戦争や人種差別など、人類が犯した過^{おか}ちを記憶にとどめ、二度と同じ過ちを繰り返さないようにとのメッセージがこめられて登録されたものが、負の遺産^ふとよばれるものです。

原爆^{げんぱく}ドームは、負の遺産の一つです。1945年8月6日、原子爆弾が広島市に投下されました。人類の歴史上、初めて核兵器が使用された瞬間です。広島県産業奨励館^{さんぎょうしょうれいかん}は、ドーム型の屋根部分の骨組みと壁が残りました。



核兵器^{かくへいき}の恐怖^{きょうふ}を後世に伝える象徴として永久保存されることになりました。

他にも奴隷貿易^{どれいぼうえき}の行われた場所、戦争中に強制的に^{きょうせい}収容^{しゅうよう}され罪のない人が殺された場所などが負の遺産として世界遺産に登録されています。

4. 富士山スカイライン ～日本の道100選～

富士山スカイラインは、周遊区間の富士宮市と御殿場市とを結ぶ延長およそ21.5 km と登山区間の富士宮口二合目（^{ひょうこう}標高1,460m）から五合目（標高2,400m）を結ぶ延長およそ13 km の道路です。登山区間は、11月下旬から4月下旬まで積雪のため通行できません。当初は有料道路でしたが、1994（平成6）年7月から無料となりました。^{じゅうたい}渋滞をなくし、^{はいき}自動車の排気



ガスから富士山の自然を守るため、1994年からマイカー規制がはじまりました。規制期間中は、水ヶ塚公園などに車を駐車し、バスに乗りかえて富士宮口五合目へ行きます。富士山スカイラインは、^{すぐ}優れた環境のもとで美しい景観を持つ道路と認められ、日本の道100選に選ばれていて、その記念碑が水ヶ塚公園にあります。



5. 山小屋のトイレは環境にやさしい

富士山には、夏に多くの登山者が訪れるため、大量のし尿処理が必要になります。富士山には水がないので、ふだん私たちが使っているようなトイレを作ることができません。以前は、し尿をそのまま山肌はだに流していま

したが、平成14年度から平成17年度までに静岡県側24箇所、山梨県側18箇所すべての山小屋のトイレを、し尿を放流しないトイレに整備しました。



今では微生物びせいぶつによってし尿を分解したり、ほのおほのおでし尿を蒸発・しょうきゃくしょうきゃく焼却したりしています。これらのトイレを維持いじしていくのにはお金がかかるので、

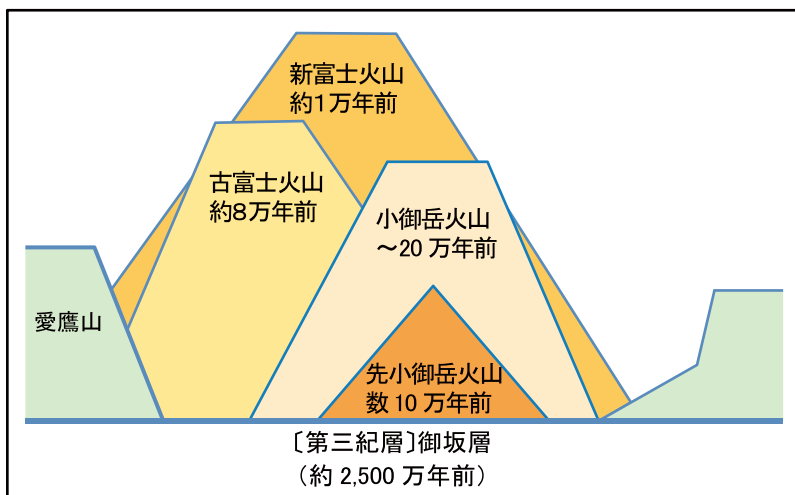


▲ バイオ式(オガクズ)トイレ
オガクズの中の微生物がし尿を分解します。

トイレを利用するときには、お金を払います。

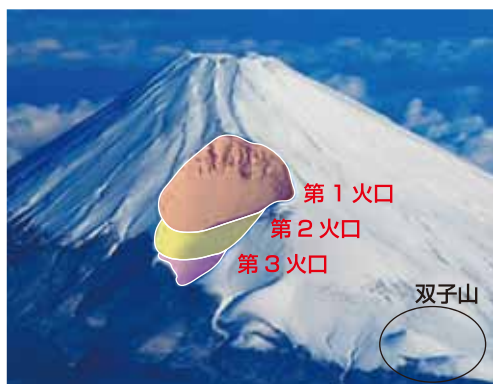
6. 富士山の成り立ち ～富士山は4階建～

富士山は第三紀層（御坂層）を土台に4つの火山が重なり合った複合火山です。今から、20万年前までに小御岳火山が出現しました。その後、約8万年前に小御岳火山の中腹に古富士火山が誕生し、さらにその二つの山をおおうように新富士火山が約1万年前に出現しました。富士山は噴火を繰り返し、現在の美しい円錐形の形になりました。東京大学地震研究所のボーリング調査で、小御岳火山の地下に、より古い先小御岳火山があることが2004年に判明しました。



7. 宝永の大噴火は1707年

歴史上記録されている18回の富士山ふんかの噴火の中で、最も激しかったのが、延暦えんりやく19（800）年と貞観6（864）年、宝永ほうえい4（1707）年の噴火です。宝永の噴火が最後なので、富士山は300年以上噴火していません。裾野市から正面に見える宝永火口は、宝永の噴火でできた火口で、頂上の火口より大きな噴火口です。よく見ると3つの火口があり、上から第1火口、第2火口、第3火口と名付けられています。噴火は、第3火口、第2火口、第1火口の順に起こりました。宝永の噴火による火山灰は、100キロ離れた江戸にも積もったといわれ、噴火のすさまじさがうかがえます。最も大きな第1火口は、直径が1100～1300m、火口の深さは125mあります。



8. 富士山と信仰 ～富士山は神の宿る山～

昔から日本人は、噴火^{ふんか}を繰り返^くす富士山^{かえ}を、神^{やど}が宿る山として恐^{おそ}れてきました。そこで、富士山の噴火^{しず}を鎮めるために麓^{ふもと}に浅間神社^{せんげんじんじゃ}を建て噴火がおさまるようお祈^{いの}りをしました。



▲ 富士山本宮浅間大社（富士宮市）

全国に 1300 社あまりある浅間神社の総本社（中心）。コノハナサケヤヒメノミコが火を鎮める水の神としてまつられている。

平安時代後期（12世紀前半）になり噴火

がおさまってくると、富士山^{しゅぎょう}は修行の山となり、強い肉体^{しゅげんじゃ}を持った修験者とよばれる人たちが登るようになりました。室町時代後半には、修験者^{むろまち}といっしょに武士^{ぶし}や庶民^{しょみん}も登山をするようになりました。また、富士山を神聖^{しんせい}な山として登山する富士講^{ふじこう}という信仰も生まれ、江戸時代には江戸を中心に大流行し、多くの人が山頂^{えど}にお参^{まい}りするために登山をしました。山頂へ登山をすることで身^{きよ}が清められ、神や仏の力^{かくとく}を獲得できると考えられ

ていました。

このようにいろいろな形の信仰がありますが、昔から人々は、富士山の火山としての荒々しさやその美しい姿から、富士山を神の宿る山として敬い、特別の思いを持ってきました。現在でも、年齢や性別に関係なく、あこがれ親しむ山として、毎年多くの登山者が訪れています。富士山は、昔から現在まで日本人の心のよりどころとなっています。



▲ 感動の瞬間 ご来光

◀ けんぼんちゃくしよくふじまんだらす
絹本著色富士曼荼羅図
(富士山本宮浅間大社蔵)

室町時代に描かれたもので、当時の富士登山の様子を知る貴重な資料である。登山者は白い服でたいまつを持って登っている。山頂には三つの仏が描かれている。

9. 須山浅間神社 ～須山口登山道の起点～



▲ 現在の須山浅間神社

須山浅間神社は、須山口登山道の起点となった神社です。古くから須山口登山道を通じて山頂を目指した登山者が、身を清め、登山の安全などを祈願しました。大永4(1524)年の棟札※1が残されていて、その時には神社が存在してい

たことが証明されています。

おおいでん
覆殿の中にある現在の本殿は、江戸時代後期の文政6(1823)年に建立されたと伝えられています。また、はいでん おおいや
拝殿手前右側の覆屋の中にはふるみや
は古宮とよばれる小社が安置されていて、けいちょう
慶長16(1611)年に建立されたものと考えられています。



▲ 大正時代の須山浅間神社

しゃそう
社叢※2 には、じゅれい
樹齢 400～500 年以上といわれる
20 本程の杉の巨木があり、太さが周囲 7 m 程のものも
あります。須山浅間神社は、富士山が信仰の対象であつ
たことを証明する重要な資産なので、けいだいち
境内地と社叢が国
の文化財(しせき
史跡※3)に指定されています。

※1 棟札：ゆいしよ
神社などで、新築や修理の際、工事の由緒・年
月日・建築者などを記しむなぎ
棟木に打ちつけた木の札

※2 社叢：神社を囲むようにして存在している森林

※3 史跡：歴史上、価値が高いと認められるもの



▲ 今から約 200 年前に建
立された本殿。覆殿の中にあ
り、大切に置かれています。



▲ 今から約 400 年前に建立されたもので
覆屋の中に大切に保存されている古宮と呼
ばれる小社。現在の本殿が建立されるまで本
殿であったと考えられています。

10. 須山口登山道 ～室町時代にはあった登山道～

須山口登山道は、須山浅間神社を起点とし、山頂部に至った登山道です。いつごろから使用されていたかはわかりませんが、京都聖護院の道興しょうごいん法親王どうこうほうしんのうの旅行記廻国かいこくざっき雑記には、文明18（1486）年、須山口と推定される「すはま口」を訪れたことが書かれていて、室町時代には使用されていたことがわかります。

宝永4（1707）年の宝永の大噴火により登山道の間部分ふつこうが吹き飛ばされてしまいました。安永9（1780）年に完全復興し、富士山頂を目指す道者は、県内をはじめ、今の東海地方や関東地方と広く東西から集まりました。寛政12（1800）年の富士山の御縁年ごえんねんには、5,398人の登山者を集めました。

明治16（1883）年、須山口の二合八勺しゃくに合流する御殿場口が開設され、明治22（1889）年に東海道線（現在の御殿場線）が開通すると、現在の裾野駅からの須山口よりも距離が短い御殿場口が利用さ

れるようになり、須山口の利用者は減少していきま
した。そして、明治45（1912）年に登山道の一部
が旧陸軍演習場となり通行自体が困難となりました。

平成8（1996）年、須山口登山歩道保存会が発
足し、翌年から平成11（1999）年にかけて、須
山浅間神社から水ヶ塚公園、御殿庭を通り富士宮口六
合目に至る須山口登山歩道とかつての須山口を利用し
た須山口下山歩道が整備されました。

かつての須山口の二合八勺（標高2050m）から山
頂にいたる登山道
（現 御殿場口登山
道）と須山御胎内周
辺から幕岩上までの
遊歩道が、須山口登
山道として構成資産
（世界遺産としての
登録資産）の範囲と
なっています。



11. 須山御胎内 ～須山口登山道一合目～

須山御胎内は、須山口登山道の一合目にあたる
ようがんどうけつ おたいない
溶岩洞穴です。その形が人体の胎内を連想させるため、
おたいない
御胎内と名づけられました。

かつては、登山者を調べた須山口の役場や休憩所、宿
泊室などがあり、登山者や安産あんざん きがんを祈願する女性などで賑にぎ

わいました。

登山者は、
この洞穴を
通って登山
するのがな
らわしでし
た。御胎内

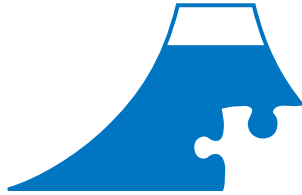


は、かつて50～60mの溶岩洞穴でしたが、大正12
(1923)年の関東大震災で薄うすいところが崩れて現在の
ようになりました。須山口登山歩道保存会によって平
成9(1997)年に須山御胎内の整備が行われ、御胎内
には木花開耶姫このはなさくやひめの石像が安置されています。

12. 富士山須山口略絵図 (複写:富士山資料館所蔵)



須山口登山道を紹介した絵図です。年代は不明ですが、宝永山①が描かれているので、1780年以降のもので
す。中央に須山浅間神社②が描かれています。ミシマ宿③
からサノ村④、石ワキ⑤、センプク⑥、ミシク⑦、イマサト
⑧、下ワダ⑨を通り須山浅間神社に通じる道があります。
須山浅間神社からは、一合目ヤクバの須山御胎内^{おたいたい}⑩、宝
永山の北側を通り山頂⑪まで登山道が通じているのが
わかります。



いつまでも
富士山を
世界遺産に

企画・編集・発行（2014年2月）

○富士山裾野ガイド協会

〒410-1102 静岡県裾野市深良451番地 裾野市観光協会内（裾野市商工会館2F）

TEL:055-992-5005 FAX:055-992-7300

☒ infosusonokanko@ab.thn.ne.jp

協 力

○裾野市企画政策課

〒410-1192 静岡県裾野市佐野1059番地

TEL:055-995-1804 FAX:055-995-1861

☒ kikaku@city.susono.shizuoka.jp

○富士山世界文化遺産裾野市民協議会

〒410-1102 静岡県裾野市深良451番地 裾野市商工会内

TEL:055-992-0057 FAX:055-993-8833

☒ susono@lilac.ocn.ne.jp